

教育理念・教育目標

帯広市教育基本計画（教育行政執行方針）

- 【基本理念】ふるさとの風土に学び 人がきらめき 人がつながる おびひろの教育
- 【基本目標】●夢の実現に向けて自立し、互いに支え合う人づくり
 - 【学校教育】▶主体的・対話的で深い学びの視点を重視した教育活動の推進
 - ▶「おびひろ市民学」の実施による地域社会の一員としての意識の育成
 - 生涯にわたり学び、活躍できる人づくり
 - 【生涯学習】▶世代を超えた多様な学びのきっかけづくり
 - ▶生き生きと活躍できる環境づくり

帯広市立北栄小学校教育理念

次代の担い手として、人間尊重の精神を基盤に、心豊かにたくましく生きる児童の育成を図るための学校教育を創造する

- 思いやりのある子 ●たくましい子 ●助け合う子 ●よく考える子 ●進んでやる子

学校教育目標（めざす子ども像）

家庭や地域と連携・協働して子どもたちを育てる

- 自ら進んで学ぶ子ども
 - ▶子どもの「やってみよう！」を引き出す
- 互いを認め合い、自分と相手を大事にする子ども
 - ▶人それぞれの特性を認め、尊重する態度を育成する
- 健康や安全に気を付ける子ども
 - ▶健康や安全に対する関心を高め、体を動かす心地よさを実感させる

めざす学校像

教職員が専門性などを高め発揮できる環境を醸成するとともに、保護者や地域住民の方々をパートナーとして尊重しながら子どもの教育に当たる

家庭や地域と共にある学校 ～共育（きょういく）～

- 学校・家庭・地域の大人が子どもを共に育てる
- 子どもも大人も共に育つ

伝統・強み～開校当時から「地域と共にある学校」というブランド

学校・家庭・地域の連携・協働体制

- コミュニティ・スクール ●地域学校協働活動

学校経営の基本方針

- 学びの機会を保障する
 - ▶人1人台端末の活用や体験活動等を通じた「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実
 - ▶探究的な学習等における地域の人的、物的な教育資源の活用
 - ▶子どもが自らの学習を振り返り、次の学習に向かう学習改善のための支援
- 自分や相手を尊重することを学ばせる
 - ▶自身と他者との違いを認め合い、適切な人間関係を築けるよう支援する生徒指導
 - ▶失敗しても何度でもチャレンジできる支援的風土の醸成
 - ▶集団や社会の一員として主体的に考え、貢献する態度の育成
- 安全を守り安心感を与える
 - ▶保護者や専門家等との連携・協働による望ましい生活習慣・食習慣・運動習慣の定着
 - ▶健康や安全を確保する適切な対応と子どもの主体的な行動を促す指導
 - ▶適切な個人情報の取扱いと適時でわかりやすい情報の発信

教育課題の共有と解決に向けた実践

「自立」に向けた支援

- 確かな学力
- 健康・安全・体力
- 豊かな人間性

令和6年度（2024年度）のキーワード

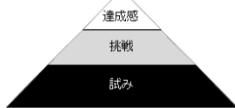
試み・挑戦・達成感

《テーマ》

家庭と連携して子供の「責任」の意識を育むとともに、意思決定して行動する姿勢を育てる

《取組内容》

- 【試み】家庭との連携による子供の「責任」の意識を育てる指導・支援
- 【挑戦】主体性を育む「個別最適な学び」「協働的な学び」の追求
- 【達成感】目標の設定と評価指標の明確化、振り返り活動の実施
学校・家庭（PTA）・地域の連携・協働による取組の実施



組織体制・経営方針・教育実践

〈学校〉

本校の教育課題の解決に向けた実践

- 【ねらい】教職員の専門性を高め、発揮し教育の充実を図る
 - ▶個別最適な学び・協働的な学びの充実
 - ▶地域人材等を活用した授業の実施

〈コミュニティ・スクール協議会〉

家庭や地域の願い・想いを形にする取組

- 【ねらい】伝統を大切にし、社会や地域のために貢献する人を育む
 - ▶補足的な学習や各種イベント等の実施
 - ▶家庭教育の充実に資する啓発活動の実施

連携協働